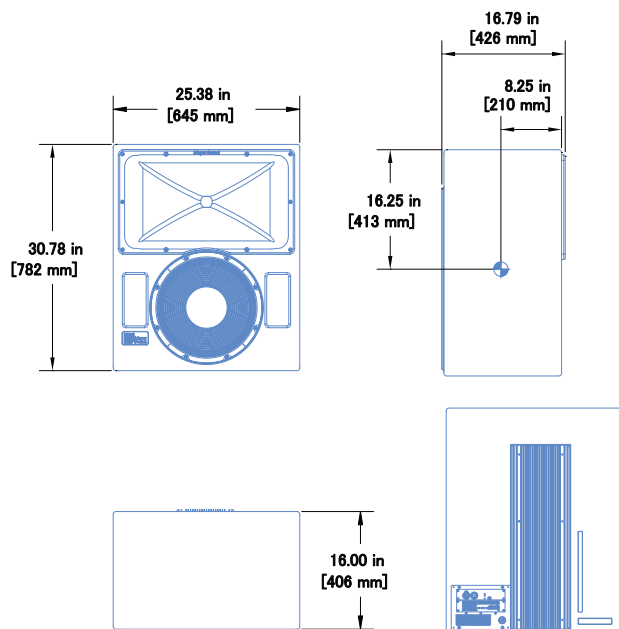


## Acheron® Studio スクリーンチャンネルスピーカー



MeyerSoundのシネマ製品EXPラインの中核をなすのが、高性能スクリーンチャンネルスピーカーAcheron™です。Acheron StudioはAcheron80のコンパクトバージョンで、小劇場、リレコーディングステージ、ポストプロダクション施設に最適です。穴あきスクリーンの背後に設置するために最適化されたこの2ウェイスピーカーは、セルフパワー技術と革新的なホーンデザインの利点を組み合わせ、シネマ用の左、中央、右のサウンドチャンネルに卓越した正確なカバレッジを提供します。

Acheron80と同じ 38 Hz ~ 17 kHz の周波数特性と、非常に低い歪みで十分なピーク出力を備えた Acheron Studio は、最も要求の厳しいデジタルサウンドトラックに耐え、広いダイナミックレンジと完全な忠実度を維持します。

Acheron Studioは、Acheron 80用に開発された特許取得済みのホーン技術を採用しています。映画館での使用に特化して設計されたこのホーンは、非常に適切に動作する水平80°、垂直50°のカバレッジパターンを超えると非常にソフトなロールオフを特徴としています。ホーンはエンクロージャー内に固定されており、正確な音響クロスオーバー、位相特性、驚くほど一貫した垂直パターンを保証します。580Hzのクロスオーバーポイントは、会話帯域のほとんどをホーンでカバーするため、シネマ用途に理想的です。

カリフォルニア州バークレーにあるMeyer Sound本社で設計・製造されたAcheron Studioのドライバーには、15インチ低域コーンドライバーと4インチ高域ダイアフラムコンプレッションドライバーが1基ずつ搭載されています。どちらのドライバーも妥協のない品質と全帯域幅を実現し、洗練されたオンボードアンプで駆動されます。Meyer Sound独自のパワーアンプは、コンプリメンタリーMOSFET出力段を備えた2チャンネルのAB級/ブリッジアンプで、合計700Wの出力を実現します。内蔵の信号処理には、フラットな位相特性と周波数特性を実現する電子クロスオーバーと補正フィルターが含まれ、ドライバー保護回路も搭載しています。セルフパワー設計により、安定した結果が得られるだけでなく、新しい部屋でも既存の部屋でも設置が簡単になります。

オプションのRMS™リモートモニタリングシステムにより、Compass®コントロールソフトウェアが動作するMac®またはWindows®ベースのコンピューターから、スピーカーのパラメーターを総合的にモニタリングできます。

高級なカンパ材を使用したAcheron Studioのエンクロージャーは、わずかに質感のあるブラック仕上げです。スピーカーのオプションには、側面にリギング取り付けポイントとMYA-ASTマウントヨークが用意されています。

## 特徴と利点

---

- 超低歪みで高いピーク出力
- 卓越した忠実度と拡張された高域性能
- カバレッジエリア全体で均一なレスポンスを実現するコンスタントQホーン
- 極めてフラットな振幅特性と位相特性による正確な音色
- HMSサラウンドスピーカー、X-400CおよびX-800Cシネマサブウーファー、一部のULTRAシリーズスピーカーとシームレスに統合可能

## アプリケーション

---

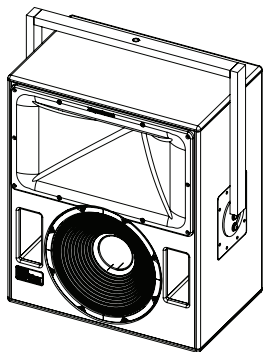
- 中規模劇場
- カスタム・プライベートシアター
- リレコーディングステージ
- 劇場とホームエンターテインメントの複合施設

## アクセサリおよび関連製品

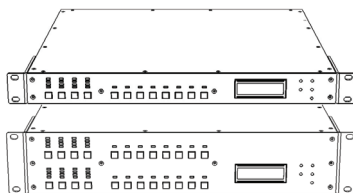
---

**Acheron with MYA-AST Yoke:** Acheron Studioの側面にリギング用アタッチメントとMYA-ASTマウントヨークを装備したオプションバージョンです。

**Galileo GALAXY Network Platform:**Galileo GALAXY Network Platformは、複数のゾーンを持つスピーカーシステムのために、最先端のスピーカーマネジメントコントロール技術を提供します。完璧な音響性能を持ち、あらゆる用途に対応した補正的なルームイコライゼーションとクリエイティブな微調整のための強力なツールセットを提供します。



Acheron with MYA-AST Yoke



GALAXY Network Platform

## 仕様

音響 <sup>1</sup>	
動作周波数範囲 <sup>2</sup>	37 Hz - 18 kHz
周波数特性 <sup>3</sup>	38 Hz - 17 kHz ±4 dB
位相応答	700 Hz - 17 kHz ±30°
リニアピークSPL <sup>4</sup>	15 dBを超えるクレストファクターで131.5 dB (Mノイズ)、131.5 dB (ピンクノイズ)、133.5 (Bノイズ)
指向角度	
水平	80°
垂直	50°
トランジューサー	
低域	15インチコーンドライバー1基; 公称インピーダンス2 Ω
高域	4インチダイアフラムコンプレッションドライバー1基; 公称インピーダンス8 Ω
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大同相範囲	±15 V DC、過渡電圧保護のためにアース接続
コネクタ	XLR 3ピンメス入力、オスループ出力。オプションの5ピンコネクタにより、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応。
入力インピーダンス	2-3ピン間10 k Ω 差動
配線 <sup>5</sup>	ピン1: 1k Ω、1000pF、15Vクランプネットワークを介したシャーシ/アースにより、オーディオ周波数での仮想グラウンドリフトを提供します。 ピン2: オーディオ信号 (+) ピン3: オーディオ信号 (-) ピン4: RMS ピン5: RMS ケース: アースグラウンド・シャーシ
公称入力感度	0 dBV (1.0 V rms) 連続 通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント
入力レベル	オーディオソースは、ラウドスピーカーの動作帯域幅で最大ピークSPLを生成するために、600 Ω で +20dBV (10V rms) を生成できるものである必要があります。
アンプ	
タイプ	2チャンネルのコンプリメンタリー MOSFET 出力段 (クラス AB/ブリッジ)
総出力電力 <sup>6</sup>	700 W (ピーク)
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC 電源	
コネクタ	powerCON 20 入力 (ループ出力付き)
自動電圧選択	90-265 V AC
安全定格電圧範囲	100-240 V AC, 50-60 Hz
ターンオンとターンオフ	AC90Vターンオン、ターンオフなし、AC265V以上の内部ヒューズによる保護
消費電流	
アイドル電流	0.340 A rms (115 V AC); 0.227 A rms (230 V AC); 0.387 A rms (100 V AC)
最大連続消費電流	2.2 A rms (115 V AC); 1.1 A rms (230 V AC); 2.5 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 秒) <sup>7</sup>	2.9 A rms (115 V AC); 1.5 A rms (230 V AC); 3.3 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	7.4 A peak (115 V AC); 3.7 A peak (230 V AC); 8.5 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	11 A peak (115 V AC); 18 A peak (230 V AC); 13 A peak (100 V AC)

## 仕様

RMSネットワーク(オプション)	
	2芯のツイストペアネットワークで、アンプのすべての動作パラメーターをシステムオペレーターのホストコンピュータに報告することができます。
外観	
サイズ	幅: 25.38 in (645 mm) x 高さ: 30.78 in (782 mm) x 奥行き: 16.00 in (406 mm)
重量	113 lb (51.26 kg)
エンクロージャー	カンパ材積層合板(質感のあるブラック仕上げ)
リギング	側面にリギング接続ポイントと、MYA-AST 取り付けヨークを備えたオプションのバージョンも利用可能です。

## 注釈

1. スピーカーシステムのカバレッジとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨最大動作周波数範囲です。応答は負荷条件と室内音響に依存します。
3. 4mの自由空間で、1/3オクターブの周波数分解能で測定。
4. リニアピークSPLは、1mを基準として4mの自由空間で測定されます。リミッターの開始、2時間の継続、50度の周囲温度でMノイズを使用して測定したスピーカーのSPLコンプレッションは2dB以下です。

Mノイズは、スピーカーの音響性能をより良く測定するためにMeyer Sound社が開発した全帯域(10Hz~22.5kHz)のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベルを持ち、周波数によって増加するクレストファクターを持ち、全帯域幅のピーク対RMS比は18dBです。クレストファクターに関して大なり小なり(>)の記号があるのは、EQやバウンダリーの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

ピンクノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

Bノイズは、最も一般的な入カスペクトルを再現する際のシステム動作を測定値に反映させるため、またピンクノイズを超えるヘッドルームがあることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。

5. 4、5番ピン(RMS)のみ、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応するXLR5ピンコネクタに付属しています。
6. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成する最大非クリップ電圧に基づきます。
7. AC電源ケーブルは、バースト電流実効値条件下で、ケーブル伝送損失によりラウドスピーカーの電圧が規定の動作範囲より低下しないよう、十分なゲージを使用する必要があります。

## 仕様設計

スピーカーはセルフパワー式のフルレンジシステムです。トランスデューサーは、直径 15 インチのコーンドライバーと、水平 80 度、垂直 50 度のホーンに4 インチのダイヤフラム コンプレッションドライバーで構成されます。スピーカーシステムには、内部処理電子機器と2チャンネルアンプ(ドライバーごとに1チャンネル)が組み込まれます。処理機能には、周波数と位相の補正、クロスオーバー、低周波セクションと高周波セクションの保護が含まれます。クロスオーバーポイントは580Hzです。

各アンプ・チャンネルは、コンプリメンタリMOSFET出力段を持つAB級/ブリッジ型です。総バースト電力は700Wです。ディストーション(THD、IM、TIM)は0.02%以下です。標準的な生産ユニットの性能仕様は、1/3 オクターブの分解能で測定して以下のとおりです: 動作周波数範囲は 37 Hz ~ 18 kHz です。位相応答は 700 Hz ~ 17 kHz  $\pm 30^\circ$  です。リニアピーク SPL は 131.5 dB、クレストファクター > 15 dB、1mを基準として4mの自由空間、Mノイズで測定します。

オーディオ入力 は 10 k $\Omega$  インピーダンスで電子的にバランスされており、公称 10 dBV (3.2 V rms) 信号を受け入れます。コネクタは、XLR 3 ピン メスとラレル ループ オスです。

内部電源は、自動電圧選択、EMI フィルタリング、ソフト電流ターンオン、およびサージ抑制を実行します。電力要件は、50 または 60 Hz での公称 100、110、または 230 V ACです。UL および CE の動作電圧範囲は 100 ~ 240 V AC です。バースト中の最大ピーク電流は、115 V AC で 2.9 A、230 V AC で 1.5 A、100 V AC で 3.3 A です。ソフトターンオン中の突入電流は、115 V AC で 11 A、230 V AC で 18 A、100 V AC で 13 A 以下です。AC 電源コネクタは PowerCON です。

スピーカーシステムは、Meyer SoundのオプションであるRMSリモートモニタリングシステムを設置するための設備を備えています。

すべてのスピーカー部品は、わずかにテクスチャーが施されたブラック仕上げの高級多層カンパ材で構成された音響的に通気性のあるエンクロージャーに取り付けられています。寸法は、幅: 25.38 インチ (645mm) x 高さ: 30.78 インチ (782mm) x 奥行: 16.00 インチ (406mm) です。重量は113ポンド(51.26kg)です。スピーカーのオプションバージョンには、側面のリギング取り付けポイントとMYA-AST取り付けヨークが用意されています。

スピーカーは Meyer Sound Acheron Studioです。

Meyer Sound Laboratories, Inc.    Acheron Studio  
2832 San Pablo Avenue            04.195.004.02 D2  
Berkeley, CA 94702                Copyright © 2020. All Rights Reserved.

+1 510 486.1166  
meyersound.com/contact  
meyersound.com



株式会社アートウィズ  
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2  
Tel: 03-5667-9682